

# トレニングセンター完成へ

## 風力発電 幸武建設が施工担当

洋上風力発電事業のトップランナーである株式会社「パワ・グループ」(神栖市、小松崎備代表取締役 野口 幸治)は、このほど、ウインド・パワートレーニングセンターのオープニングセレモニーを開催した。同施設は風力発電施設の運営・保守点検に関わる人材を育成するための総合トレーニングセンターで、風力発電関連の人材育成プログラムを提供するNPO団体GWOの認証を取得。施工は幸武建設が、設計は株式会社エヌ・ティ・ワークスが担当。



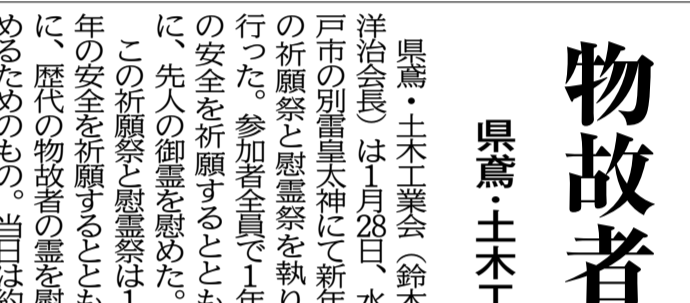
あいつに立つた小松崎代表取締役は「わが国では再生可能エネルギー、風力発電の需要が今後爆発的に伸びると考えられている。そのため、運営・メンテナンス関連の人材育成が急務となる。鹿島臨海部にトレーニングセンターを開設することで人材育成や雇用の向上を目指していく」と

### このまに 新たな施設誕生

建設地は神栖市南浜3-226地内で敷地面積は約3,000㎡。施設の延べ床面積は約1,000㎡。洋上風力発電での緊急時の安全訓練をするプールを備えている。国内でプールを備えたGWOトレーニングセンターは2つ目で首都圏では初。また、GWOプログラム実施のためゼロから設計し建設されたトレーニング施設は同施設が国内で初めて。

決意を表明。来賓の額賀福志郎衆議院議員(写真左)は「日本の最大の弱点はエネルギーであり、エネルギーを安定的に供給することがわれわれの永遠の課題だと考えている。洋上風力は将来の日本のエネルギー政策で特に期待されている分野。政府はチャレンジャー企業をサポートしなければならぬ」と述べた。

神栖市の石田進市長(写真中央)は「洋上風力発電施設を鹿嶋市と神栖市の新たな観光資源、地域の宝としたい」と意欲。施工を担当した幸武建設の野口雅利代表取締役(写真左)は「弊社が初めてのことが多く、貴重な経験をさせていただいたこと



感謝申し上げる。つつがな竣工工し、今日の良き日を迎えられたのは関係者の皆さま方のご指導と鞭撻の賜物であり、厚く御礼申し上げます」と述べた。

## 被災地支援に100万寄託

### 藤井建設グループ 被災地支援に100万寄託

一日も早い復興を願う

た。少しでも現地の方のお役に立てれば幸い。一日も早い復興を願っている」と述べ、岸田市長に目録を贈呈した。

### 能登半島地震 義援金

藤井建設グループ(藤井正一オーナー)は、1日、能登半島地震の被災地支援に活用してもらおうと、日本赤十字社茨城県支部神栖市地区長の岸田一夫神栖市長に義援金100万円を寄託した。藤井正一オーナーは「能登半島地震で被災された方々のために何かできないかと思ひ、寄贈させていただ



▲岸田市長(中央左)に義援金の目録を贈呈した

### 参加者なしで再公告

一般競争 中農研14棟他改修

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構は1月30日に中農研14棟ほか改修工事の一般競争入札を執行。参加者なしのため不調となった。今後、再公告を行う予定だ。

### 建設企業100社を紹介

若年者の関東中心に300校へ配布

いばらき建設企業ガイドブック

### 物故者の御霊に祈り

一年の安全も祈念

県農・土木工業会(鈴木洋治会長)は1月28日、水戸市の別雷皇太神にて新年の祈願祭と慰霊祭を執り行った。参加者全員で1年の安全を祈願するとともに、先人の御霊を慰めた。

### andHANDが設計

子育て支援総合センター建設

阿見町は子育て環境のさらなる充実を図るため、子育て支援総合センターの建設を計画している。整備に当たって、1月30日に設計業務の入札を執行。andHAND建築設計事務所が1748万円で落札した。

## 舗装率60%引上げ

### 道路環境指針定める

《潮来市》

潮来市は後期基本計画(素案)の中で、道路環境に関する課題や今後の指針を定めている。2023年度現在の59.8%である市道の舗装率を、28年度には60.1%まで引き上げることが目標に掲げる。

### 輪島市に見舞金

早期復興へ30万

神栖市は、令和6年度能登半島地震で被災した石川県輪島市に対して見舞金30万円を贈呈した。

### 命名権者を募集

ネーブルパーク

古河市は、中央運動公園(〒285-288)、ネーブルパーク(駒羽根620)のネーミングライツ事業者を募集する。応募期間は3月29日まで。契約期間は、いずれの施設も3年以上5年以内としている。



▲参加者全員で記念撮影

### 速読速戦

建設未来通信が建設関連ニュースを加速

### 新聞がもっと身近に...

建設未来「電子版」メールとWebで無料配信

マルチメディア&マルチプラットフォーム